

浅間山(黒斑山)山行報告



【山行日】2018年2月4(日) 曇り後晴れ

【集 合】 岩舟支所P AM 6:30

【費 用】 マイカー1台 : 4,000円

【メンバー】 CL:鈴木、石川、岡、田村、
津佐、鶴見夕、鶴見ヒ、藤原、松館

【コースタイム】岩舟支所 P6:30=高峰高原ホテル
P8:40/9:15~槍ヶ鞆 10:35/10:45~トミの頭 11:00
~黒斑山 11:20/11:50~トミの頭 12:05/12:10~
中道分岐 12:20~高峰高原ホテル P13:00/13:20=
岩舟支所 P15:40

浅間山のリクエストがあり、雄大な浅間山の雪の縞模様が見られる雪山山行を計画した。上信越道は順調に走り予定通り車坂峠に着くと、T村さんが「高峰高原ホテルに車を止められますよ」と言うのでホテルの駐車場に車を止める。冬は公衆トイレが閉鎖され、ホテルのトイレを借りるので車から近くてありがたい。トイレを済ませ、準備を整えたら登山口に移動する。登山口でストレッチを行い、登山届をポストに入れて出発する。登山口から左は中コースへの道で、右に行くと南の尾根を登るコースだ。往路はメインルートの南尾根コースを登り、復路は沢通しに下る中コースを下ることにする。少し登ると南側が開け、小諸市街やハケ岳、蓼科山の展望が得られる。小ピークを越え急坂を下ってから登り返し、しばらくは針葉樹林の中の登りが続く。途中の展望が開けた場所で小休止し、衣服調整と水分補給を行う。天気は晴れの予報で水ノ塔山・籠ノ登山は晴れていたが、浅間山はグレーの雲で覆われて見えなかった。気温が低く風も吹き、顔に当たると刺すように痛い。



針葉樹の尾根道を忠実にたどり、稜線が見えてくると避難小屋が近い。避難小屋を過ぎ少し下ると



槍ヶ鞆に出て浅間山の大展望が開けるが、あいにく山頂は雲に覆われて展望は得られない。

それでも雲が少しづつ上がり、裾野が1/4くらいは見えてきた。休憩し記念写真を撮ったりして雲が取れるのを待つが、なかなか姿を見せてくれない。今日は登山者が多くツアー登山のグループが先行して出発し、我々もその後を追って出発する。トミの頭への登りは岩交じり急登で、先行する団体で渋滞する。トミの頭まで登ると大勢の登山者で賑わっており、我々は寄らずに黒斑山に向か

う。ここからは樹林帯の稜線を登るようになり、東側が少し切れ落ちている箇所があり慎重に進む。しばらく稜線のゆるい登りを行くと、黒斑山の標識が立つ山頂に着く。先行した登山者が10名位休



んでいたが、我々も休憩し記念写真を撮り昼食を食べることにする。お湯を沸かしそれぞれ持参したカップ麺や雑炊にお湯を注ぎ、温かいものを食べて体を暖める。ランチの間に雲がだんだん薄くなり、浅間山の山頂が見えてきた。浅間山独特の雪の筋も見えるようになり、皆さん「ウワ～～素敵、見えて良かった～」と喜んでいました。もう一度山頂をバックに標識の前で記念写真を撮り、後から登って来る人に場所を空

け下山する。下山は来た道をトーマの頭まで戻り、誰もいないピークで写真を撮る。ここから少し下ると中コース分岐になり、右に樹林帯の中を沢沿いに下って行く。途中広く開けた場所で休憩し、箆ノ登山や湯の丸山の眺望を楽しむ。途中の尾根をトラバースして下る道で、先行するツアー登山のグループに道を譲ってもらう。この先でアサマ2000スキー場への道を右に分け、左に沢沿いに降りると平坦な道になり間もなく登山口に到着し、道路を横切ると高峰高原ホテルの駐車場に着いた。アイゼンを外し靴を履き替え、トイレを済ませて帰路に着く。途中上信越道の横川SAに寄ってお土産を買い、予定よりも早く岩舟支所に帰着した。

